

# 琵琶湖森林づくり県民税について

## 1. 特定目的財源としての琵琶湖森林づくり県民税の使途の考え方

### ○ 琵琶湖森林づくり条例の基本理念

- ① 森林の多面的機能が持続的に発揮される森林づくりに重点をおいた施策の推進
- ② 森林の恵みを等しく享受している県民全体が協働で取り組む森林づくりの推進

### ○ 琵琶湖森林づくり県民税を充当する事業の基本的な考え方

- ① 事業効果が広く県民全体に及び公共性、公益性が高く、事業内容が県民にはっきりと見える事業であること。
- ② 県民の森林に対する理解や関心を深め、森林づくりへの参画意識の高揚に資する事業や、県民の主体的な参画による協働で森林づくりに取り組む事業であること。
- ③ 新たな負担は、県・市町の公有林や造林公社営林地など公的に管理されている森林を除いた、私有林を対象とした森林づくりに充当すること。

### ○ 琵琶湖森林づくり事業の内容【2つの柱と8つの事業】

#### (1) 環境を重視した森林づくり

琵琶湖と森林との環境を重視し、琵琶湖の水源かん養など森林の公的機能の高度発揮を目指す施策

[事業内容]

- ① 陽光差し込む健康な森林づくり事業
- ③ 森林を育む間伐材利用促進事業
- ② 長寿の森奨励事業
- ④ 里山リニューアル事業

#### (2) 県民協働による森林づくり

森林が琵琶湖と人々の暮らしと切り離すことができない県民共通の大切な財産であることから、県民が、森林について理解と関心を深め、主体的に参画し協働で森林づくりを推進するという新たな仕組みで森林づくりを支えていく施策

[事業内容]

- ⑤ 協働の森づくりの啓発事業
- ⑦ 未来へつなぐ木の良さ体感事業
- ⑥ みんなの森づくり活動支援事業
- ⑧ 森林環境学習「やまのこ」事業

「琵琶湖森林づくり基本計画」の目標事業量などを踏まえて算出

年間標準事業費 約 6億円

上記の考え方や充当事業の内容等を踏まえ

### 【琵琶湖森林づくり県民税条例】

**第1条** この条例は、琵琶湖の水源かん養、県土の保全等すべての県民が享受している森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、県民の理解と協力の下、公益的機能が高度に発揮されるような森林づくりのための施策を推進し、滋賀の森林を健全な姿で未来に引き継いでいくことが必要であることから、当該施策に要する経費の財源を確保するため、琵琶湖森林づくり県民税として、県民税の均等割の税率について滋賀県税条例の特例を設け、これに必要な事項を定めるものとする。

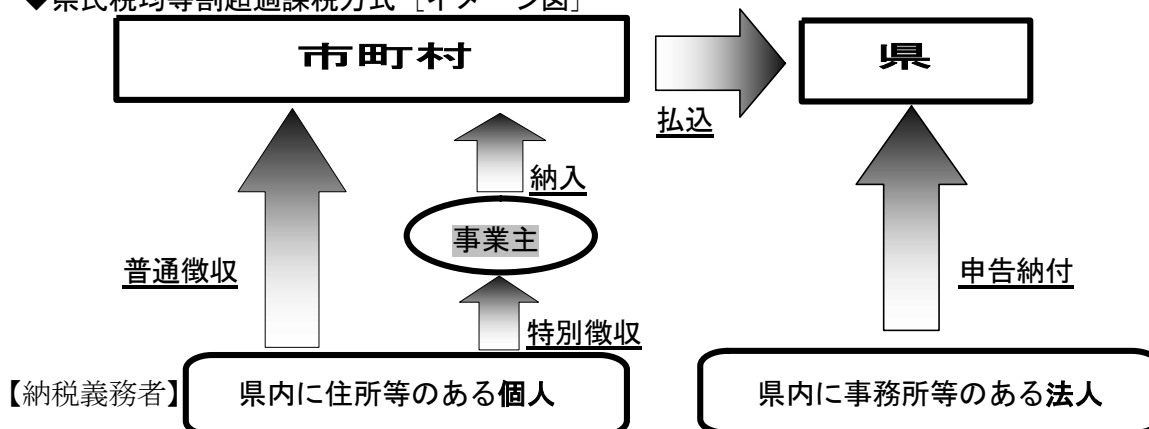
## 2. 課税方式

### 県民税均等割超過課税方式

県民税は、「地域社会の会費」という応益的な性格を有しており、また、均等割は、所得状況の大小に関係なく県民が広く均等に負担することから、県民税均等割に上乗せして徴収する「県民税均等割超過課税方式」の導入は、新たな視点に立つ森林づくりのために必要な費用を県民全体が等しく負担するという琵琶湖森林づくり県民税の趣旨に合致する。

また、既存の税制度を活用することから仕組みがシンプルで、徴税コストも新税創設よりも低く抑えることが可能である。更に、所得金額が一定金額以下の納税義務者は、非課税とする制度が設けられている。

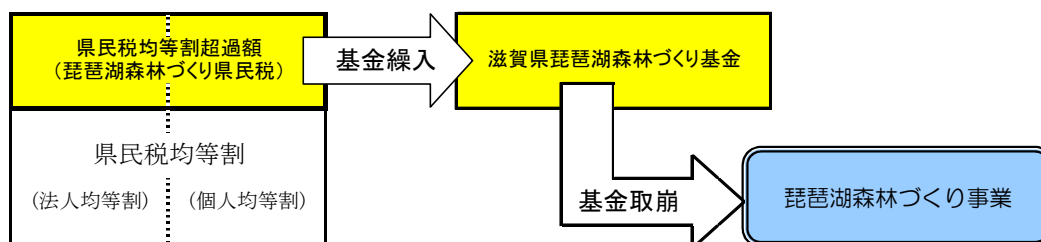
#### ◆県民税均等割超過課税方式〔イメージ図〕



- ・ 個 人 ⇒ 市町が個人県民税均等割に上乗せをして賦課徴収し県へ払い込む。
- ・ 法 人 ⇒ 法人が法人県民税均等割に上乗せをして申告納付

#### ◆琵琶湖森林づくり県民税の流れ〔イメージ図〕

県民税均等割超過課税方式は、使途が限定されない普通税であり、そのままでは徴収した税金が他の普通税と区分されないことから、新たな森林づくりのための財源に充てることを明確にするために「滋賀県琵琶湖森林づくり基金」を設け、その基金に税金を積み立てることとした。



#### 【滋賀県琵琶湖森林づくり基金条例】

第1条 琵琶湖の水源かん養、県土の保全等の森林の有する公益的機能が高度に発揮されるような森林づくりのための施策の円滑な推進を図るため、滋賀県琵琶湖森林づくり基金（以下「基金」という。）を設置する。

第2条 基金として積み立てる額は、琵琶湖森林づくり県民税条例（平成17年滋賀県条例第40号）第2条および第3条第1項の規定による加算額に係る収納額に相当する額から賦課徴収に要する費用を控除して得た額ならびに基金の設置の目的のために寄附された寄附金の額の合計額を基準として、その積立てをする年度の一般会計歳入歳出予算（以下「予算」という。）で定める額とする。

### 3. 税率

#### ① 個人県民税均等割

超過税率 年額 800円 (標準税率 1,000円)

#### ② 法人県民税均等割

超過税率 均等割の11%相当額

資本金等の額による区分	標準税率(年額)	超過税率(年額)
下記以外の法人(均等割非課税法人除く)	20,000円	2,200円
1千万円超1億円以下	50,000円	5,500円
1億円超10億円以下	130,000円	14,300円
10億円超50億円以下	540,000円	59,400円
50億円超	800,000円	88,000円

### 4. 琵琶湖森林づくり税導入の経過

#### (1) 滋賀県の森林・林業のあり方検討

平成 15 年 4 月 森林審議会に「滋賀県の森林・林業のあり方」専門調査会を設置  
平成 15 年 11 月 11 日 知事に「滋賀県の森林・林業のあり方について」答申

- ◆森林の多面的機能の持続的発揮を図るための新たな施策を展開するためには、安定的な新たな財源が必要。
- ◆費用負担の手段として、「新たな税の創設」「県民等の募金や寄附」が考えられるが、それぞれの長所を生かした多元的な財源確保策の検討が必要。

#### (2) 導入時

平成 16 年 4 月 「滋賀県森林づくりの費用負担を考える懇話会」を設置 (外部委員 8 名)  
平成 16 年 12 月 22 日 知事に「滋賀の新たな森林づくりと費用負担のあり方について」提言  
平成 17 年 7 月 8 日 琵琶湖森林づくり県民税条例案可決 (15 日公布)  
平成 18 年 4 月 1 日 琵琶湖森林づくり県民税条例施行

#### (3) 制度の見直し (平成 22 年度検討)

条例の施行後 5 年を目途として、条例の施行状況、社会経済情勢の推移等を勘案し、必要があると認めるときは、条例規定について見直しを行うこととなっていたため、平成 22 年度に検討を行った。

平成 21 年 11 月 琵琶湖森林づくり基本計画見直しについての森林審議会答申および  
琵琶湖森林づくり県民税の使途の基本的な考え方等について (付帯意見)  
平成 22 年 2 月 琵琶湖森林づくり基本計画の改定

↓

平成 22 年 5 月 「琵琶湖森林づくり県民税条例改正検討会」設置 (委員 8 名)  
平成 22 年 11 月 4 日 総務部長に「これからの『琵琶湖森林づくり県民税』について」報告  
平成 22 年 12 月 22 日 琵琶湖森林づくり県民税改正条例案可決 (28 日公布・施行)

- ◆改正事項 : 次の見直し時期については、更に 5 年後を目途に見直しを検討する。
- ◆その他検討事項 : 現行の超過課税制度・税率等は継続する。

# 琵琶湖森林づくり県民税の位置付けおよび経過

森林審議会に  
「滋賀県の森林・林業のあり方」専門調査会設置  
(平成15年4月)

琵琶湖森林づくり条例(平成16年4月1日施行)※1

琵琶湖森林づくり基本計画公表(平成17年1月)

琵琶湖森林づくり基本計画(長期目標)  
平成17年度～平成32年度

基本計画(1期目)戦略プロジェクト(中期目標)  
平成17年度～平成21年度

戦略プロジェクトの  
見直し(平成21年度)

基本計画(2期目)戦略プロジェクト(中期目標)  
平成22年度～平成26年度(改定H22.2)

戦略プロジェクトを含む  
基本計画全体の  
見直し(平成26～27年度)

基本計画(3期目)戦略プロジェクト(中期目標)  
平成27年度～平成32年度(改定H28.3予定)

(※1)

第20条 県は、森林づくりに関する施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

平成15年11月 答申

・森林の多面的な機能の持続的発揮を図るための新たな施策の展開のために新たな財源が必要  
・費用負担の手法として「新たな税の創設」「県民等の募金や寄附」など多面的な財源確保策の検討が必要

滋賀県琵琶湖森林づくり基金条例  
(平成18年4月1日施行)※2

●第1回基本計画見直し  
・戦略プロジェクトの見直し

滋賀県森林審議会の答申および  
森林づくり県民税の使途の基本的な考え方  
に関する付帯意見(平成21年11月)

●第2回基本計画見直し  
①戦略プロジェクトの見直し  
②琵琶湖森林づくり条例の改正内容の反映  
③基本構想、環境総合計画との調和

滋賀県森林審議会の答申および  
森林づくり県民税の使途の基本的な考え方  
に関する付帯意見(平成27年8月)

(※2)

第1条 琵琶湖の水源かん養、県土の保全等の森林の有する公益的機能が高度に発揮されるような森林づくりのための施策の円滑な推進を図るため、滋賀県琵琶湖森林づくり基金(以下「基金」という。)を設置する。  
第2条 基金として積み立てる額は、琵琶湖森林づくり県民税条例(平成17年滋賀県条例第40号)第2条および第3条第1項の規定による加算額に係る収納額に相当する額から賦課徴収に要する費用を控除して得た額ならびに基金の設置の目的のために寄附された寄附金の額の合計額を基準として、その積立てをする年度の一般会計歳入歳出予算(以下「予算」という。)で定める額とする。

琵琶湖森林づくり県民税

平成16年4月 「滋賀県森林づくりの費用負担を考える懇話会」を設置(外部委員:8名)

平成16年5月13日～11月30日 同懇話会を計8回開催

平成16年12月22日 懇話会から知事に対し「滋賀の新たな森林づくりと費用負担のあり方について」提言

平成17年7月8日 琵琶湖森林づくり県民税条例案可決

平成18年4月1日 琵琶湖森林づくり県民税条例施行 ※3

平成22年5月 「琵琶湖森林づくり県民税条例改正検討会」設置(委員8名(行政2名))

平成22年6月24日～10月18日 同検討会を計5回開催

平成22年11月4日 検討会から総務部長に対し「これからの『琵琶湖森林づくり県民税』について」報告

平成22年12月22日 琵琶湖森林づくり県民税改正条例案可決  
(28日公布・施行)

平成27年9月 検討会を設置

平成27年10月～平成28年3月 検討会開催

(※3)

第1条 この条例は、琵琶湖の水源かん養、県土の保全等すべての県民が享受している森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、県民の理解と協力の下、公益的機能が高度に発揮されるような森林づくりのための施策を推進し、滋賀の森林を健全な姿で未来に引き継いでいくことが必要であることから、当該施策に要する経費の財源を確保するため、琵琶湖森林づくり県民税として、県民税の均等割の税率について滋賀県税条例(昭和25年滋賀県条例第55号。以下「県税条例」という。)の特例を設け、これに必要な事項を定めるものとする。

# 琵琶湖森林づくり県民税の収支状況(平成18年度～平成26年度)

(千円)

	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	計
琵琶湖森林づくり県民税	482,673	658,934	680,333	683,064	676,689	683,022	687,979	694,383	696,402	5,943,479
個人県民税均等割分	453,349	512,062	526,905	532,109	520,124	524,214	529,999	534,963	535,987	4,669,712
法人県民税均等割分	29,324	146,872	153,428	150,955	156,565	158,808	157,980	159,420	160,415	1,273,767
基金積立額 (A)	441,005	624,291	679,317	648,828	638,363	650,407	661,354	650,824	663,919	5,658,308
琵琶湖森林づくり県民税	438,800	622,100	675,600	646,100	636,700	648,900	657,500	649,200	661,700	5,636,600
寄附金	2,205	1,000	0	694	50	0	0	300	357	4,606
財産収入	0	1,191	2,386	2,034	1,613	1,507	1,435	966	826	11,958
諸収入	0	0	1,331	0	0	0	2,419	358	1,036	5,144
琵琶湖森林づくり事業費	350,941	519,975	669,285	702,830	740,431	733,650	843,085	834,432	887,280	6,281,909
国費充当	0	0	82,075	96,870	146,392	134,974	118,175	165,136	177,202	920,824
基金充当 (B)	350,941	519,975	587,210	605,960	594,039	598,676	724,910	669,296	710,078	5,361,085
基金残額 (A)－(B)	90,064	104,316	92,107	42,868	44,324	51,731	▲ 63,556	▲ 18,472	▲ 46,159	297,223
(累計)(5月末残高)	90,064	194,380	286,487	329,355	373,679	425,410	361,854	343,382	297,223	
基金利用率 (B)/(A)	79.6	83.3	86.4	93.4	93.1	92	109.6	102.8	107	94.7
琵琶湖森林づくり県民税利用率	80.0	83.6	86.9	93.8	93.3	92.3	110.3	103.1	107.3	95.1

※ 基金積立額における琵琶湖森林づくり県民税分は、税収入確定前に見込み金額により積み立てることとなるため同額にはならない。